

レントゲン週間のイベントとして、昨年に引き続き医療放射線画像展 2019 と題して、広く県民の皆様にご認知していただくため、私達の業務に関わるポスターパネルを秋田駅自由連絡通路に展示し、合わせて市民公開講座を開催しました。

今年度はテーマを「リアルラジエーションハウス～診療放射線技師を目指す君たちへ～」と題して、将来の職業として興味を持っている学生やその保護者、高校の進路指導の教職者を対象に診療放射線技師の仕事の内容を紹介し、またそれ以外にも、がん検診の啓発や被ばく相談など行いました。

開催日の 11 月 9 日は肌寒く、通路を行きかう市民の方々は足早に通り過ぎる方も多く見受けられましたが、中には足を止めて熱心にご覧いただいた方もおられました。ご覧いただいた方々には業務内容の紹介や検査に対する疑問にお答えしながら、診療放射線技師の仕事のアピールさせていただきました。

市民公開講座は立地の関係で、秋田駅に隣接する秋田拠点センター「アルヴェ」内にある映画館をお借りし、通常の講演会などとは異なった趣で行いました。映画館だけに音響やスライド映写、座席、空調は完璧で、参加者に快適にお過ごしいただけたかと思えます。

4 月に放映されたドラマ「ラジエーションハウス」の反響を受け、主に高校生を対象とし、診療放射線技師になるための進路や、仕事の内容、医療現場のリアルな話などを聞いていただける場になるように企画しました。開催案内を秋田県全域の高校に発送し、生徒のみならず保護者、進路指導の先生などご聴講いただければという思いでしたが、当日は、ご家族でご参加いただいた方、学校の研究で診療放射線技師をテーマにしている高校生のグループ、市外からわざわざご来場いただいた高校生など、今までにない方々に熱心にご聴講いただきました。講師陣は秋田県診療放射線技師会 川又渉副会長、篠原俊晴理事、渡部桃子理事が担当し、ユーモアを交え、大変わかりやすくご講演いただきました。川又副会長からは技師になるための養成学校や国家試験について診療放射線技師になる前の概要を、篠原理事からは技師の細かい仕事の内容を、渡部理事からは女性技師としての経験をそれぞれお話していただきました。

今回の医療放射線画像展開催に際し、講師をお引き受けいただきました理事の方々、ボランティアでお手伝いいただきました理事、監事、会員の皆さま、会場スタッフ、イベントスタッフの皆さまにこの場をお借りして謝辞を申し上げます。

今後も県民の皆さまに良質な医療を提供できるよう努めて参りたいと思います。

(文責:岩根)



